

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名 No. 620305 社会を明るくする運動啓発事業		主管課名 福祉課								
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域		課長名 小野田 朗						
		施策	地域力を高めて安全で安心して暮らせるまち								
		基本事業	犯罪の防止・防犯意識の高揚								
	(1)事業の概要										
	すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動を展開する。小学生に啓発書（毛筆）を募集し、入賞作をイオン三好店に展示。市内7箇所のスーパー等で街頭啓発（啓発物の配布）。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)							
				名 称	単 位						
				啓発書応募件数	件						
				啓発資材配布数	個						
				その指標							
(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		小学生を対象に啓発書(毛筆)を募集し、入賞作品をイオン三好店に掲示する。社会を明るくする運動街頭啓発を実施する。									
26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)								
市民			名 称	単 位							
			人口	人							
			その指標								
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)								
犯罪や非行の防止と更生保護について啓発を行う。			名 称	単 位							
			街頭啓発回数	回							
			街頭啓発箇所数	箇所							
			その指標								
(4)結果(上位基本事業の意図)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)								
犯罪に巻き込まれ、犯罪被害者にならないよう防犯意識の高揚を図る。			名 称	単 位							
			犯罪発生件数	件							
			その指標								
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単 位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
(5)の活動指標		件	434	674	450	450	450	450			
		個	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000			
(6)の対象指標		人	59,141	59,474	60,200	60,800	61,400	62,000			
(7)の成果指標		回	2	2	2	2	2	2			
		箇所	7	7	7	7	7	7			
(8)の結果の成果指標		件	822	797	773	773	773	773			
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	03	項	01	目	01
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単 位	425	336	363	363	363	363			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	425	336	363	363	363	363			
	人件費B	千円	961	371	371	371	371	371			
		正職員従事時間×人数	時間×人	255 × 1	100 × 1	100 × 1	100 × 1	100 × 1			
		正職員以外の人件費	千円								
		その他費用C	千円								
トータルコストA+B+C		千円	1,386	707	734	734	734	734			
単位あたりコスト		千円/ 人	0	0	0	0	0	0			
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/									
		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	620305 社会を明るくする運動啓発事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	戦後間もなく から		
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？		
犯罪者や非行少年の更生に理解を深めるため。			
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？			
変化していない		変化し 市内の犯罪が近年増加し、犯罪者の更生に理解を深めていく必要がある。	

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 →	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
		自治事務 →	根拠法令	"社会を明るくする運動"実施要綱(法務省)		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく →	理由	この事務を行う根拠又は理由	犯罪者や非行少年の更生に理解を深めるため。	
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 →	内容			
	できない → 縮小 →					
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 →	内容			
	できない → 絞込み →					
	有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい →	理由又は内容		
		多少影響がある →				
		影響はない →				
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる →	理由又は内容	講演会を開催したり、啓発回数や箇所数をふやしたりすることで、成果の向上は可能だが、コストがかかることになる。			
できない →						
効率性	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある → 庁内事業 →	類似事業名	ある → 内容		
	ない → 庁外事業 →	類似事業との再編の可能性	ない			
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある →	内容			
	ない →					
公平性	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある →	内容			
	ない →					
(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 →	内容				
ない → 検討が必要 →	受益者がいない					

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど						